

各国アカデミーについて

資料5

内閣府総合政策推進室

		米国	英国	ドイツ	フランス
名称		全米科学アカデミー[National Academy of Sciences (NAS)]	英国王立協会[Royal Society]	ドイツ科学アカデミー・レオポルディーナ[Nationale Akademie der Wissenschaften Leopoldina]	フランス科学アカデミー[Académie des sciences]
設立年		1863年(An Act to Incorporate the National Academy of Sciences)	1660年(1662年国王の勅許(Royal Charter))	1652年(2008年連邦政府・州政府の合同科学会議決議によりナショナル科学アカデミーに認定)	1666年(1699年、ルイ14世の庇護によりロイヤル科学アカデミーとして認知)
組織形態		非営利・非政府組織	公益団体(自治機関として登録されている慈善団体)	非営利組織	特殊公的法人(5アカデミーからなるフランス学士院の一機関) 会則は大統領令(décrets)により承認(approbation)
カバーする学問分野		会員は、「物理学・数学」、「生物学」、「工学・応用科学」、「生物医学」、「行動・社会科学」、「応用生物学・農学・環境学」のいずれかの部門に所属 ※「行動・社会科学」部門は人文・社会科学として人類学、心理学・認知科学、社会・政治科学、経済学などを含む ※人文社会科学は主に社会科学研究会議が担う	会員は、「コンピュータサイエンス」、「数学」、「天文学と物理学」、「化学」、「工学」、「地球と環境科学」、「生化学・分子細胞生物学」、「微生物学、免疫学及び発生生物学」、「解剖学、生理学及び神経科学」、「有機生物学、進化・生態学」、「健康と人間の科学」のいずれかの分野に所属。重複あり ※人文社会科学は主にブリティッシュ・アカデミーが担う	会員は、「数学・自然科学・工学」、「ライフサイエンス」、「医学」、「人文科学・社会及び行動科学」のいずれかの部門に所属	会員は、数理科学部門(「数学」、「物理学」、「機械・情報科学」、「宇宙の科学」セクション)、自然科学部門(「化学」、「分子・細胞・ゲノム生物学」、「統合生物学」、「人間生物学・医学」セクション)のいずれかのセクションに所属。科学の応用のインターセクションもあり ※人文社会科学はフランス学士院を構成する倫理・政治学アカデミー等が担う
会員数	会員	2461名(2022年4月時点)	1531名(2022年4月時点)	1649名(2022年6月時点)	276名(2022年4月時点)
	外国人会員	511名(2022年4月時点)	188名(2022年4月時点)	会員と外国人会員の区別はない(外国人は会員全体の約3割)	112名(associés étrangers)(2022年4月時点)
	名誉会員	76名(2022年4月時点)	11名(2022年4月時点)	1名(会員の中から選ばれる)(2023年1月時点)	—
	その他	—	5名(Royal Fellow 4名、その他1名)(2022年4月時点)	—	64名(通信会員、Membres correspondants)(2022年4月時点)
科学的助言を行う根拠		An Act to Incorporate the National Academy of Sciences(1863年制定)第3条(NASは政府のいかなる部局の要請に対していつでも、科学的又は学術的課題に関する調査、検討、実験、報告を行わねばならない)	規定なし	2008年連邦政府・州政府の合同科学会議決議(本決議により、政策提言の分野でナショナル・アカデミーの任務を担うこととされた)に基づき、定款第2条に科学的助言の任務を規定	会則(大統領令(décrets)により承認)第3条(科学アカデミーは、国内又は国際的な問題についての勧告(recommendations)、要望(voeux)又は提案(suggestions)を提出)
科学的助言等の件数(実績)		・235件(2021年)(NASEMのConsensus Study Report、Proceedings等の件数) ※政府機関等からの依頼以外に民間からの依頼に応じた調査研究も実施 ※外部から委託を受けずに自発的に調査研究を実施するケースもある	Consultation response 16、Letter 7、Report 11、Statement 4他(2021年) ※政府からの依頼は全体のごくわずかであるが、科学的助言を行う際には、政府の各部門と定期的に対話を行っている	34件(2021年) (National Recommendations 13、Discussions 3、Alliance Statements 11、International Academy Networks 6、International Publications 1) ※基本的に政府から依頼された業務を行うことはない	13件(2021年) ※ここ数年、政府からの依頼は殆どなく、大部分は自発的に選んだ課題についてなされたもの
アカデミーとしての機能		提言・助言 調査・研究 奨学金・助成金 栄誉、顕彰	提言・助言 奨学金・助成金 国際連携 顕彰	提言・助言 調査・研究(研究は科学史のみ) 奨学金・助成金 栄誉・顕彰	提言・助言 調査・研究(提言のため) 奨学金・助成金 栄誉・顕彰
事務局体制(職員数)		【NASEM職員数】1115名(博士号取得者212名)	223名(2021年3月時点)	110名(博士号取得者31名)	38名(うち約半数は公務員)(2019年12月時点)

	米国	英国	ドイツ	フランス
業務計画	・NRCが戦略計画(2020-2025)を初めて策定	・評議会が戦略計画(2017-2022)を策定 ・委員会、WGが年次計画を策定	・年間事業計画及び部局における個別の戦略計画を策定	・年間活動計画を策定
外部(内部)評価	・外部監査法人による会計監査あり(監査の内容は内部の監査委員会に報告され、外部監査が完了したことが会長に報告される)	・アカデミー内の監査委員会による監査を行う ・毎年外部会計監査を受けるほか、登録慈善団体として毎年チャリティー委員会に年次報告書を提出	・毎年の連邦教育研究省及び監査法人による監査のほか、連邦会計検査院による不定期の監査 ・幹部会に助言を与え、監査人の任命等を行う Senat(上院)には、非会員もメンバーになることが可能	・通常5年ごとの会計検査院による会計検査
年間収入と支出	<p>【NAS, NAE, NAM, NRCの連結決算】(注) (2020年) 約4.31億ドル(約578億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うち公的資金は約4.5割(調査研究、ワークショップ等) ・過去5年間の公的資金は約1.9~2.2億ドル/年で推移(投資収入の増減により公的資金割合は約4.5割~7.5割で変動) ・政府と個別プロジェクトごとに委託契約を締結。受託に当たって、原則、他の組織と競争することはない ・基盤的経費に対する政府からの資金提供はない ・総支出の8割程度が研究、ワークショップ、フェロシップ・プログラム運営等 <p>※1ドル=134.22円(2022.6.9)</p>	<p>(2020-2021年度) 約1.34億ポンド(約225億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うち公的資金は約8.5割(大部分は助成金プログラム運営に充当) ・過去5年間の公的資金は毎年増加(公的資金割合は約7割から8.5割に増加) ・財団などの外部団体から慈善活動に関する寄附金を受けている。 ・総支出に占める科学的助言の提供、普及啓発等に係る支出の割合は約6%(850万ポンド≒14.3億円) ・提言活動の大部分は協会自身の資金で賄うが、政府から資金を得ることもある <p>※1ポンド=168.31円(2022.6.9)</p>	<p>(2020年) 約1589万ユーロ(約22.9億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> -うち、1324万ユーロ(約19.1億円)が公的資金。うち1204万ユーロが「連邦政府80%+州政府20%」の枠組みによる公的資金 -この他、265万ユーロ(約3.8億円)の公的資金を含む第三者からのプロジェクト資金収入があるほか、寄附金も受けている(2021年:5万ユーロ(約800万円))。 ・収入に占める公的資金割合は、過去3年間で概ね9割(公的資金は約1400万~約1500万ユーロで推移) ・政策提言は100%公的資金で賄われる <p>※1ユーロ=143.91円(2022.6.9)</p>	<p>(2019年) 約625万ユーロ(約9.0億円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うち公的資金(使途の縛りなし)は1/3未満 ・仮に政府の依頼に応じた科学的助言を行う場合の費用は、全て公的資金(使途の縛りなし)で賄われる <p>※1ユーロ=143.91円(2022.6.9)</p>

	米国	英国	ドイツ	フランス
会長の勤務形態	常勤	—	常勤も可	—
会員は終身／任期	終身 ※新たに選出される会員数は、2019年は100名以内、2020年以降は毎年120名以内との規定がある ※年会費は300\$又は一括払い5000\$	終身 ※毎年最大52名の会員を選出することができる ※年会費は280£（～65歳）、124£（66～84歳）、なし（85歳以上）	終身（ただし、会員は75歳に達すると当該会員の地位が空席となり、他の者に割り当てることができるが、当該会員の権利に変更はない旨の規定あり） ※年会費はなし ※会員人数は、毎年選出可能な最大人数が決められることになっているが、必ずしも最大人数が選出されるとは限らない。	終身（ただし、毎年1月1日現在の75歳未満の会員の人数が基準定数を構成する。この定数は250人を上限とする旨の規定あり） ※選考は通常2～3年毎に行う ※報酬 年間5152€（2019年）
会員の任命権者	なし	なし	なし	会員による投票による選出者を大統領が承認（approbation）
会員選出後の手続	選出された候補者が会員資格を受諾次第、役員に署名したディプロマ（会員認定証）が発行される	選出された候補者は王立協会の定める責務に従うことを宣誓する署名をし、それを受けて会長が入会を承認	会長が選出された候補者に書面で通知し、候補者が書面で同意することで会員選出プロセスは完了	
複数段階の投票、優先順位付けの実施等	会員の推薦する候補者について、各セッションでの検討・投票による候補者の特定、各部門における検討・投票による優先順位リストの作成を経て、会員による優先順位投票の後、年次総会での投票により選出 （参考） 会長等の役員や評議会の構成員の選考に関し、現職の役員や評議会構成員以外の会員で構成される指名委員会が会長候補者の検討・推薦、会長以外の役員や評議会構成員の候補者リストの取りまとめ（候補者リストに記載する者は会員から推薦された者に限る必要はない旨の規定がある）等を行っている	会員の推薦する候補者について、関係する部門別委員会において検討・投票を行い候補者リストを作成した上で、理事会が最終候補者リストを投票により作成。その後、会員の投票により選出	会員の推薦する候補者について、各セッションでの投票（第一読会）、各部門での投票（第二読会）を経て優先順位が決定され、拡大幹事会（第三読会）で投票・選出	会員の推薦する候補者について、各セッションにつき置かれる順位委員会において、第1位及び第2位の候補が決定。その後、秘密会（非公開の総会）での投票により選出
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規定なし	会員の選考に当たって、会長が各大学のVice ChancellorやResearch Councilの議長及び最高責任者に対して候補者の推薦を奨励することができる	第一読会及び第三読会における候補者の検討に際し、幹事会メンバー又は幹事会は必要に応じて会員以外の専門家の助言を求めることができる旨の規定がある	規定なし

（注）全米アカデミーズ（NASEM）は全米科学アカデミー（NAS）、全米工学アカデミー（NAE）、全米医学アカデミー（NAM）で構成。なお、全米研究評議会（NRC）はNASのガバナンス下にある。